

# New Rays English Communication I 年間カリキュラム(案)

Ch. = Chapter, RP = Reading Passage

学期 (3 学期)	学期 (2 学期)	月	課	タイトル	学習のねらい	主な言語リソース	指導上の留意点	配当 時間
1	1	4	Ch.1	The Future Is Yours	【これから生きる力】 ロバート・キャンベル氏の話を通して、これからの生き方について考える。	do/ does (単純形), be doing (進行形), have + done (完了形) / 動詞 + 名詞, 動詞 + 前置詞 + 名詞, 動詞 + 形容詞 / 「興味・関心」の語彙ネットワーク	・hatch の比喩的な意味を押さえながら、著者のメッセージを捉えさせる。 ・自国の文化の重要性や、自分にとっての hatch について意見を交換させる。 ・これまでの人生に影響を与えた出来事について発表させる。	7
			Ch.2	The Power of Design	【デザインの力】 身の回りのものをデザインという視点から捉え直し、デザインが私たちの生活にどのような影響を与えているかを考える。	時・条件・理由などを示すために使う接続詞 (when, if, because, etc.) / V + O + do, V + O + 形容詞 / 「デザイン」の語彙ネットワーク	・「機能」、「効果」、「社会的な影響」の3つの視点からデザインが私たちの生活の中で果たす役割について理解させる。 ・スマートフォンのデザインやピクトグラムについて意見を交換させる。 ・異なるデザインを比較しながら、最適なエレベータのボタンがどれであるかを発表させる。	7
			Skills for Sound Production		まずは元気に声を出そう / 英語のリズム / イントネーション		・大きな声で感情を込めて発音させる。 ・英語のリズムとイントネーションについて理解し、発音させる。	1
	1	6	Ch.3	Plastic Is Everywhere	【問題解決の仕方】 プラスチック汚染の現状を知り、その解決に向けてどのような取り組みが可能であるかを考える。	have + done (現在完了形), have been + doing (現在完了進行形) / be + done (受動態) / 「水質汚染」の語彙ネットワーク	・プラスチック汚染の原因や現状と課題、解決への取組について理解させる。 ・私たちが多くのプラスチックを捨てる理由やマイクロプラスチックの削減について意見を交換させる。 ・プラスチック汚染を解決するために私たちができることについてのポスター発表をさせる。	7
			Ch.4	OriHime – A Vehicle of Your Heart	【癒やしの力】 吉藤健太郎氏が開発したオリヒメというロボットが、孤独に苦しむ人々をどのように支えているのかを理解する。	関係代名詞 [制限用法] / had + done (過去完了形) / had been + doing (過去完了進行形) / 「ロボット」の語彙ネットワーク	・オリヒメが孤独に苦しむ人々にとってどのような存在であるのかを理解させる。 ・本文中の登場人物の気持ちや考えを共感的に読み取らせる。 ・オリヒメの活用方法を考え、企画プレゼンテーションを行わせる。	9
			Skills for Reading Comprehension		Before Reading / While Reading / After Reading		・Before, While, After の3つのフェーズに応じたリーディングへの取り組み方を理解させ、実践させる。	1
	2	9	Ch.5	Satoko and Nada	【対話の力】 漫画「サトコとナダ」の作者であるユベチカ氏とのインタビューを通して、異文化コミュニケーションにおける対話の重要性について考える。	to do (to 不定詞) / doing (動名詞) / 「文化」の語彙ネットワーク	・インタビュー文章を通して作者がどのような思いを込めて作品を作ったのかを理解させる。 ・作品の鑑賞を通して異文化コミュニケーションにおいて重要なことについて考えさせる。 ・作品の翻訳を通して日本語の概念や会話表現をどのように英語にするのかについて考えさせる。	7
			Ch.6	The Voice of Children	【表現の力】 かつてインドのスラム街に住んでいた若者たちが発行する「バラクナマ」という新聞について知り、私たちの生活における「表現」の意味を考える。	名詞 + doing (現在分詞), 名詞 + done (過去分詞) / 同時性・連続性を示す doing (分詞構文) / 「メディア」の語彙ネットワーク	・バラクナマの活動を通してスラム街に住んでいた若者たちの人生がどのように変化したのかを読み取らせる。 ・メディアに関するテーマについて、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・記者という設定で、与えられた出来事を報告する文章を書かせる。	7
			Skills for Writing		意見文の書き方		・理由・具体例を挙げながら一貫した主張を展開するといったポイントを理解させ、意見文を書かせる。	1
	2	11	Ch.7	Human Habitation on Mars	【探索の力】 人類による火星探査の歴史を紐解き、さまざまな課題をどのように乗り越えようとしているのかを理解する。	話し手・書き手の判断を示す助動詞 (can, may, must, etc.) / 関係代名詞 [非制限用法] / 「宇宙」の語彙ネットワーク	・事実を正確に読み取りながら、火星探査の現状と課題及び意義について理解させる。 ・火星に関するテーマについて、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・宇宙旅行についてディスカッションをさせる。	7
Ch.8			A Loving Story	【愛の力】 「ラビング事件」についての文章を読み、人種問題について考える。	関係副詞 where, when / 関係代名詞 what / 「法律・裁判」の語彙ネットワーク	・ラビング事件に関する読解を通して、人種差別に関する歴史と現状を考えさせる。 ・本文中の登場人物の気持ちや考えを共感的に読み取らせる。 ・登場人物になり切り、感情を込めてパートを演じさせる。	9	
Skills for Listening Comprehension			Before Listening / While Listening / After Listening / Reflection		・Before, While, After の3つのフェーズに応じたリスニングへの取り組み方を理解させ、実践させる。	1		
3	1	Ch.9	Edo, the Resilient City	【歴史の力】 江戸が幾多の災害を乗り越え、どのように防災都市へと変化していったのかについて理解を深める。	仮定法過去, 仮定法過去完了 / as if + 仮定法 / 「災害」の語彙ネットワーク	・江戸の人々がどのように災害を乗り越え、防災都市へと変化したのかについて理解させる。 ・防災に関するトピックについて、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・留学生の街案内の計画を立案し、発表させる。	7	
		Ch.10	A Quality Education for All	【教育の力】 永遠瑠マリールズ氏が母国ルワンダで取り組んでいる教育プロジェクトについて知り、教育の持つ力について考える。	動詞 + 名詞 + that 節 [wh- 節 / if 節] / It is ... that ~ (強調構文) / 「教育」の語彙ネットワーク	・マリールズ氏がどのような想いでウムチョムイーザ学園を設立し、それがルワンダの子どもたちの人生をどのように変えたのかを理解させる。 ・今日の世界における教育の役割や意義について、自己に引き寄せて意見を交換させる。 ・SDGs の17個の目標を理解させ、それらの取り組みやすさについてのポスター発表をさせる。	9	
		Skills for Speaking		慣用表現のストックを増やす / ナビゲーターの発想を身につける		・「慣用表現」と「ナビゲーター」の視点からスピーキング力を向上させる方法について理解させ、実践させる。	1	

Option	RP1	The Window	ある病院に入院している2人の患者が織り成す物語を鑑賞する。	Ch.1~10の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情を場面に応じて考えさせる。</li> <li>作品の感想について意見を交換させる。</li> <li>作品のエピローグを書かせる。</li> </ul>	3
	RP2	The Tale of the Three Brothers	3人の兄弟が死神と繰り広げる物語を鑑賞する。	Ch.1~10の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアリーテールを読むことに親しませる。</li> <li>死神に対して3人がどのような行動を取ったのかについて読み取らせる。</li> <li>作品の感想をまとめ、レビューを書かせる。</li> </ul>	3
【付録】	文法力の身につけ方／語彙力の身につけ方／慣用表現力の身につけ方／Satoko and Nada マンガの日本語訳／Expressions for Communication／Word List／Idiom Sentences					
						87

※「英語コミュニケーションⅠ」の標準単位数は3単位なので、週3時間×35週＝105時間であるが、学校行事等で30週になることを前提に90時間の配当時間とした。